

みどりみらい<牧の原> ぐんじとしのりの議会報告

2006/03/21 Vol. 17 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

いつもお世話になっております。今回は、「牧の原地区」の皆様にご紹介/ご報告してまいりたいと思います。

< 3月議会での ぐんじとしのり から市への質問と回答について >

牧の原駅圏の将来について

市は商業施設の誘致のみならず、地域住民のために安全で快適な生活環境を確保する義務があると考え、交通量の増大をはじめ、地区住民には頭を悩ませる問題が多い。印西市はこの現状をどこまで把握し、対応を行っていくのか。

(1) 駅南側商業施設用地への企業進出について

建設に至るまでには今後、企業による詳細設計が行われる予定になっていると考えるが、駐車場への進入路に関して住民の声を反映できるように働きかけを行うべきである。どのように考えるか。

(2) 南環状線南側への建築について

県道南環状線が片側2車線で県道臼井印西線まで通じたことにより交通量が増大している。これにともない、南環状線の南側では農地等を用途転換して、商店等の建築が始まることも予想される。市では現状をどのように捉え、今後申請が行われた場合どのような指導を行っていくのか。

(3) 校庭の芝生化について

牧の原地区では春先から夏にかけて強い風が吹くと近隣の学校から砂塵が舞い上がり、近隣の住民に多大なる影響を及ぼす。市ではこの現状をどのように捉え、対応をとっていくのか。

(回答/市長(抜粋))

(1) 駅南側商業施設用地への企業進出について.....

平成17年第4回定例会でもお答えしておりますとおり、大規模小売店舗立地法では「地元説明会」を開催することとされておりますが、市といたしましては、進出企業に対しまして、法的根拠による説明会のみでの対応ではなく、早い時期に、できる範囲での情報提供をしていただけるよう、進出企業をお願いしているところでございます。

これまでも、昨年8月に、地元8町自治会連合会及び1管理組合に対し、進出企業より、計画の概要等についての説明を行った後、12月には今後の予定等について説明を行ったと伺っております。

去る2月19日及び21日に交通量調査を実施したと聞いており、今後は関係機関と調整等進めながら詳細設計に入り、夏頃には大規模小売店舗立地法に基づく「地元説明会」を開催する予定と伺っております。なお、地元の自治会連合会等に対しましては、この「地元説明会」に先立ち、6月頃と工事着工前の説明会を想定し、現在計画していると伺っております。

いずれにいたしましても、今後とも進出企業等関係者と連絡を密にし、地域の皆さんに情報の提供ができますよう、お願いしてまいりたいと思っております。

(ぐんじとしのりより/牧の原の皆様へ)

市に対して「住民の立場に立った議論」を警察や業者とするように申し入れました。

(2) 南環状線南側への建築について.....

南環状線南側の地域につきましては、都市計画法による「市街化調整区域」に区分されておりまして、開発行為や建築行為をする場合、事前に千葉県知事の許可が必要となります。

市街化調整区域において、建築が可能となる場合は、都市計画法の技術基準及び立地基準に適合していることが条件となります。

この地区に、建築が可能な用途といたしましては、店舗系といたしましては、ドライブイン、コンビニエンスストア、給油所などの沿道サービス型及び千葉県条例第3条の要件に合致した専用住宅及び店舗併用住宅等が建築可能でございます。

これらの建築の際に、事前の相談がありました場合は、建築物の用途、目的、開発行為の面積、汚水処理の方法及び雨水処理の方法等を確認したうえで、他法令との関連を調査しながら指導を行っております。

開発区域が農地の場合は、農業委員会の農地転用手続きを、また、生涯学習スポーツ課では文化財保護法による埋蔵文化財の届出を指導した後、受け付けしております。

(ぐんじとしのりより/牧の原の皆様へ)

現在、アバンドーネ原5番街の南側にて整地が行われており、パチンコ屋等が進出されたら困る旨を問い合わせをいただき、その確認のために質問したものです。3月1日現在では、当該用地については「開発行為」の申請がなく、怖れはないものと考えておりますが、今後も引き続き監視を行って参りたいと思っております。

(3) 校庭の芝生化について.....

牧の原地区の小、中学校からの砂塵につきましては、近隣の住宅地への生活環境に対して、影響を及ぼしている状況であり、自治会、周辺の方々より、改善の要望をいただいているところでもありますので、牧の原地区の小、中学校の校庭整備に際しましては、砂塵防止対策を含めて実施していかなければならない重要な課題であると認識いたしております。

校庭の芝生化の取組み状況につきましては、教育活動に活かせるよう、学校現場の状況を把握しながら、(市内の他の学校で)一部芝生化を導入し、校庭整備を行っているところでございます。

牧の原地区につきましては、砂塵が発生しやすいことから、芝生化は有効な手法であると認識しておりますので、現在、校庭整備を行っている学校におきましては、維持管理の省力化等が図れる、品種の芝生をパイロット的に導入するなど、芝生の拡大化を図るため、実績等を観察し、データ収集に努めているところでございます。牧の原地区の小、中学校の校庭整備につきましては、実施計画に位置付けし、計画的に進めていく予定であります。牧の原地区の地域性等を十分配慮し、子どもたちの円滑な教育活動ができるよう、砂塵の飛散防止対策も含め、一部芝生化を導入した学校のデータ等を参考に、効果的な校庭整備を実施してまいりたいと考えております。

印西牧の原駅前公共施設整備事業について

平成18年度～平成22年度(予定)にかけて印西市では総額26億円(印西市負担分2億6千万)を投じて同事業を推進します。同事業では平成18年度に現在の駅通路の西側を拡幅する「自由通路の整備」(予算10億3千万円、印西市負担分0)を手始めに行います。その後、駅前広場の整備等が行われる予定です。(※今後、この紙面で内容をお伝えしていきます。)

= ぐんじとしのりの活動から =

3/17(金曜日) 西の原小学校の卒業式に出席させていただきます。

< 原小学校には入学式にお伺いする予定です。 >

今回は牧の原の皆様へ地域の情報をお届けするために紙面を構成しました。牧の原地区に関する要望や疑問に限らず、皆様からのご意見をお待ちします。

ぐんじとしのり